

西興部村簡易水道事業業務状況説明書

令和6年度下半期

自	令和6年度10月 1日
至	令和7年度 3月31日

令和7年5月

西興部村産業建設課

令和 6 年度西興部村簡易水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

令和 6 年度における西興部村簡易水道事業の主な事業としては、安全な水道水を安定して供給するため、浄水場内の流量計及び膜ろ過ポンプ等の更新工事の実施のほか、水道施設の適正かつ効率的な維持管理に取り組んで参りました。

(業務の状況)

令和 6 年度末時点の給水人口は 893 人であり、前年度に対して 24 人の減となりました。年間総配水量は 304,616 m³、年間総有収水量 210,885 m³で、有収率は 69.2%となりました。また、簡易水道の普及であります。簡易水道区域内人口 895 人に対する普及率は 99.8%となっております。

(経営の状況)

損益は、収益的収入総額 97,609,627 円（税抜き 94,806,365 円）に対して収益的支出総額 96,301,323 円（税抜き 94,406,912 円）となり、収益的収入支出の差引額 1,308,304 円（税抜き当年度純利益 399,453 円）の計上となりました。

資本的収支では、流量計更新工事等の建設改良費及び企業債償還金の資本的支出総額は 47,038,095 円となり、これらの財源としての他会計補助金等の資本的収入総額は 7,671,850 円でありました。

これにより資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 39,366,245 円は、当年度分損益勘定留保資金 39,366,245 円で補てんしました。

簡易水道事業は、令和 6 年 4 月 1 日から地方公営企業法の一部を適用した公営企業会計へ移行し、初めての決算になります。今度とも、事業の経営状況や資産状況を明確に把握し、その分析を通して健全な事業経営に向けて今後とも取り組んで参ります。

(2) 経営指標に関する事項

令和 6 年度における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、101.9%となり、健全経営の水準とされる 100%を上回っています。また、使用料水準の妥当性を示す料金回収率は、38.9%となりましたが、数値が 100%を下回っており、使用料以外の収入によって賄われている状況となっております。

(経営指標の推移)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
経常収支比率 (経常収益/経常費用×100)	101.9%	—	—
料金回収率 (供給単価/給水原価×100)	38.9%	—	—
有形固定資産減価償却費 有形固定資産減価償却累計額 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価 ×100	8.4%	—	—

○給水量 1 m³当たりの供給単価

$$\text{令和 6 年度} = \frac{\text{水道使用料 (24,571,943 円)}}{\text{年間総有収水量 (210,885 m}^3\text{)}} = 117 \text{ 円}$$

○給水量 1 m³当たりの給水原価

$$\text{令和 6 年度} = \frac{\text{総費用 (94,406,912 円)} - \{\text{特別損失 (1,457,540 円)}\} - \text{長期前受金戻入 (29,440,866 円)}}{\text{年間総有収水量 (210,885 m}^3\text{)}} = 301 \text{ 円}$$

(3) 議会議決事項

議 案 番 号	件 名	提 出 年 月 日	議 決 年 月 日
報告第 5 号	令和 6 年度西興部村簡易水道事業特別会計の決算認定について	令和 6 年 9 月 13 日	令和 6 年 9 月 13 日
議案第 8 号	令和 5 年度西興部村簡易水道事業会計補正予算案について	令和 6 年 9 月 13 日	令和 6 年 9 月 13 日
議案第 1 3 号	令和 6 年度西興部村簡易水道事業会計補正予算案について	令和 6 年 12 月 13 日	令和 6 年 12 月 13 日
議案第 5 号	令和 6 年度西興部村簡易水道事業会計補正予算案について	令和 7 年 3 月 10 日	令和 7 年 3 月 13 日
議案第 1 6 号	西興部村水道事業給水管理条例の一部を改正する条例の制定について	令和 7 年 3 月 10 日	令和 7 年 3 月 13 日
議案第 2 4 号	令和 7 年度西興部村簡易水道事業会計予算案について	令和 7 年 3 月 10 日	令和 7 年 3 月 14 日

(4) 行政官庁認可事項

該当事項ありません。

(5) 職員に関する事項

(令和7年3月31日現在)

区分		企業職員			備考
		事務	技術	計	
産業建設課	課長				
	主幹				
	係長	(1)	1	1	() 書きは併任発令
	係				
	会計年度任用職員	2		2	水道メーター検針員
合計		2	1	3	

※人件費の予算計上している職員のみ記載

(6) 料金その他供給条件の改定、変更に関する事項

該当事項ありません。

2 工事及び委託

(1) 建設工事の概況

該当事項ありません。

(2) 改良工事の概況（設計も含む）

(単位：円 税込)

契 約 名 称	契 約 金 額	契 約 業 者	工 事 内 容
No.2 膜ろ過ポンプ更新工事	1,100,000	新栄クリエイト(株)	浄水場膜ろ過ポンプ 1 基の更新
消火栓更新工事	3,432,000	(株)マルコウ	消火栓 4 基の更新
流量計更新工事	6,050,000	新栄クリエイト(株)	送水・配水流量計それぞれ 1 基の更新

(3) 保存工事の概況

(単位：円 税込)

契 約 名 称	契 約 金 額	契 約 業 者	工 事 内 容
検満メーター取替工事	4,510,000	(株)マルコウ	13φ:58 基、20φ:1 基、30φ:1 基、40φ:1 基 計 64 基
浄水場内機器点検委託業務	1,815,000	新栄クリエイト(株)	村内全水道施設の点検
膜ろ過装置洗浄委託業務	1,408,000	新栄クリエイト(株)	浄水場膜ろ過装置 3 基の洗浄

3 業務

(1) 業務量

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	備 考
総人口（人）	937	958	1,020	
簡易水道区域内人口（人） A	895	919	982	
給水人口（人） B	893	917	980	
給水戸数（戸）	608	613	632	
普及率（％） B/A	99.8	99.8	99.8	
1 日配水能力（m ³ ） C	1,100	1,100	1,100	
年間総配水量（m ³ ） D	304,616	313,031	314,321	
年間総有収水量（m ³ ） E	210,885	219,078	221,686	
年間有収率（％） E/D	69.2	70.0	70.5	
1 日最大配水量（m ³ ） F	1,029	1,065	957	
1 日平均配水量（m ³ ） G	835	855	861	
施設利用率（％） G/C	75.9	77.7	78.3	
最大稼働率（％） F/C	93.5	96.8	87.0	
負荷率（％） G/F	81.1	80.3	90.0	

(2) 事業収益に関する事項

(単位：円 税抜)

区分	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度対比	
			増減	増減率
水道事業収益	94,806,365	—	—	—
1 営業収益	24,674,243	—	—	—
(1) 水道使用料	24,571,943	—	—	—
(2) その他営業収益	102,300	—	—	—
2 営業外収益	70,038,923	—	—	—
(1) 受取利息及び配当金	1,844	—	—	—
(2) 他会計負担金	364,968	—	—	—
(3) 他会計補助金	40,231,245	—	—	—
(4) 長期前受金戻入	29,440,866	—	—	—
3 特別利益	93,199	—	—	—
(1) その他特別利益	93,199	—	—	—

(3) 事業費用に関する事項

(単位：円 税抜)

区分	令和 6 年度	令和 5 年度	前年度対比	
			増減	増減率
水道事業費用	94,406,912	—	—	—
1 営業費用	92,034,118	—	—	—
(1) 原水及び浄水費	12,307,771	—	—	—
(2) 配水及び給水費	4,980,318	—	—	—
(3) 業務費	548,354	—	—	—
(4) 総係費	5,390,564	—	—	—
(5) 減価償却費	68,442,994	—	—	—
(6) 資産減耗費	364,117	—	—	—
2 営業外費用	915,254	—	—	—
(1) 支払利息	720,751	—	—	—
(2) 消費税及び地方消費税	54,500	—	—	—
(3) 雑支出	140,003	—	—	—
3 特別損失	1,457,540	—	—	—
(1) その他特別損失	1,457,540	—	—	—

(4) 性質別費用の構成

(単位：円 税抜)

項目		令和 6 年度	令和 5 年度
職員 給与 費	給料	2,187,750	—
	手当	1,141,412	—
	報酬	177,754	—
	法定福利費	637,376	—
支払利息		720,751	—
減価償却費		68,442,994	—
光熱水費		7,428,451	—
修繕費		119,555	—
通信運搬費		116,748	—
薬品費		1,201,590	—
委託料		4,127,400	—
負担金		9,603	—
その他		6,637,988	—
合計		92,949,372	—

※特別損失 1,457,540 円は含めない。

(5) その他主要な事項

ア 水道使用料滞納繰越調書

(単位：円 税込)

区分	調定額	収入済額	不納欠損	未収金
現年度	27,025,505	26,965,950	0	59,555
滞納繰越		69,950	0	0
合計	27,025,505	27,035,900	0	59,555

(年度別内訳)

(単位：円 税込)

年度	件数	未収金	備考
令和6年度	14件	59,555	

4 会計

(1) 重要契約の要旨（100万円以上）

2 工事及び委託にて記載済みのため省略

(2) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

(単位：円)

種 類	借 入 先	前年度末残高	本年度借入額	本年度償還額	本年度末残高
簡易水道事業	財務省 財政融資資金	175,774,959	0	25,934,103	149,840,856
	地方公共団体 金融機構	153,518,230	0	9,501,992	144,016,238
	備荒資金組合 市場公募債	9,730,000	0	1,020,000	8,710,000
合計		339,023,189	0	36,456,095	302,567,094

※本年度における企業債残高に係る利息償還額 720,751 円

イ 一時借入金

該当事項ありません。

5 附帯事項

該当事項ありません。

6 その他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項ありません。

(2) 他会計負担金等の使途について

ア 一般会計負担金等の使途について（収益的収入）

- ・一般会計負担金 364,968 円については、企業債支払利息の一部（特定収入以外）に充当しました。
- ・一般会計補助金 865,000 円については、人件費等（特定収入以外）に充当しました。
- ・減価償却費充当分補助金 39,366,245 円については、減価償却費（特定収入以外）に充当しました。

イ 一般会計負担金等の使途について（資本的収入）

- ・一般会計負担金 7,671,000 円については、課税仕入れの財源として発行した企業債の償還元金（特定収入）に充当しました。
- ・一般会計補助金 850 円については、課税仕入れの財源として発行した企業債の償還元金（特定収入）に充当しました。

(3) 特別損失及び特別利益について

ア 当事業年度において、期末手当、勤勉手当及びこれらに伴い発生する共済費として支給するために、賞与引当金を 356,695 円取り崩さなければならないが、地方公営企業会計初年度のため特別損失に予算計上し支給しました。

イ R5 年度簡易水道事業特別会計の決算に伴う消費税確定申告により納付が生じたため、本来ならば、R5 年度予算で計上し未払金として繰り越さなければならないが、地方公営企業会計初年度のため特別損失に予算計上し納付しました。

ウ 地方公営企業会計初年度による打ち切り決算に伴い、本来ならば、出納整理期間中に回収する予定だった水道使用料の未納分及び翌月に請求書として発行され支出する予定だった額を R5 年度簡易水道事業特別会計にて処理できなかったため R6 年度当初に未収金 69,950 円、未払金 1,057,184 円を計上した。これに伴い、上記未収金及び未払金を清算した際に発生した消費税額を特別損失（未収金清算による消費税）及び特別利益（未払金清算による消費税）で予算計上し、R6 年度決算として組み込み申告を行います。